

職員紹介⑤

※内容は取材当時の平成29年度予算

とある1日のスケジュール



8:30 決裁文書の確認

9:00 係内朝の会

10:00 会議

12:00 昼休憩

13:00 母子保健事業の調査回答
決裁文書の確認、伝票作成
支援方針についての打ち合わせ

17:30 退庁



庁内保健師会のみなさん

子ども家庭部子育て支援課
子ども保健・発達支援係
主査(9年目)

職種:保健師
平成29年度入職

Q1.現在の仕事内容

係の業務としては、乳幼児の健康の保持増進のための健診や相談などを中心に、様々な事業を実施しています。私は保健師と言っても、主査という立場なので、訪問や相談業務には携わっていないのが現状です。主に事業運営に関わる事務や調整を行っています。人手が足りない時などは健診業務にも入りますが、お子さんたちかのかわいい笑顔に癒されています。

Q2.職場の雰囲気

出先の機関なので、本庁と比べてたくさんの職員と顔を合わせることはありませんが、みんなで和気あいあいと、助け合いながら楽しく仕事をしています。方向音痴の職員が出かけるときはみんなで心配し、大変なことをみんなで労い合える職場です。

Q3.国立市に就職を決めた理由

保健師として働く場所は、自治体の他に企業だったり、病院だったりいろいろありますが、私は地域住民との関りがとても好きなので、自治体の保健師が希望でした。自治体の中でも割と人口が少ない方が、より手厚い保健活動ができると思っているので、国立市で働きたいと思いました。また、市民活動がとても盛んで市民のパワーが大きいところも魅力でした。

Q4.仕事のやりがい

自分が関わる人が人生を終えるときに、「この人生でよかったな」と思えることに少しでも近づけるような関りがしたいというのが私自身の軸となっています。市民の方には当然ですが、同僚に対しても同じ気持ちなので、少しでも職場環境が楽しくなるように心がけています。みんなの笑顔が見れたときが、やりがいを感じる瞬間になっています。国立市では庁内保健師会を定期的に開催していますが、みんなが集まるといろんな話が飛び交い、楽しい時間となっています。

Q5.国立市の良いところ

国立はきれいな桜並木やイチョウ並木がたくさんあり、四季折々の素晴らしい景観が見られる街です。そして、市民が助け合い、市民の手で街を良くしていくという意識が高く、たくさんの学びをいただけます。また職員同士も顔の見える関係で、連携もしやすい職場だと思います。

Q6.受験者へのアドバイス

公務員の基本は、住民の生活を守ることが第一優先です。そして市民がより幸せな人生を送れるように職務を遂行しますが、そのためにはまず自分がやりがい、生きがいを持っているかということがとても大事だと思います。決して何かをやってあげるという意識ではなく、一緒に国立市を盛り上げていくという意識をもって向かってください。